

皆さんこんにちは。校長の堀です。今日は今年度最後の登校日です。そこで皆さんに少しだけお話する時間を頂きました。

この2年あまりコロナ禍が続き、多くの方が不便で不安な毎日を暮らしています。その様な中では誰でも落ち込む時はあります。何かあったら一人で抱え込まず、周りの誰かに話を聞いてもらいましょう。

さて、古い話になりますが、17世紀のヨーロッパでも何度かペストが流行してケンブリッジ大学も2年ほど休校になったそうです。その当時大学生であったアイザック・ニュートンは精神的に影響を受け、故郷に戻っていたそうですが、以前から着想を持っていた、微分積分法や万有引力の法則、光の分光などの研究をこの2年間で実らせたとされています。そのためこの期間は「ニュートンの創造的2年間」と呼ばれています。どのような状況にあっても、その時にできる事を続けることの大切さを物語っていると思います。今の私たちも、できるだけ物事を前向きに受け止め、困難が成長の糧となっていることを信じて歩んで行きましょう。

春の日差しを受けるまでもう少し時間がかかるようですが、それまで皆さん、体と心に気を付けて安全に過ごしてください。以上です。